

防災チェックポイント

★在宅避難と備え

防災対策特別委員会

台風の大規模化、線状降水帯による局地的集中豪雨、毎年、日本列島を自然災害が襲っています。

9月、首都圏を襲撃した大型台風15号は大規模停電という大きな爪痕を残しました。その影響により千葉県内ではピーク時に約64万軒が停電となり、エアコンも使えず酷暑にも見舞われ、充電もできず情報も入らない不安な日々を過ごし、一部の地域では断水となりました。また、ブルーシートでの雨漏り対策等、突然の避難生活が強いられた状況です。

やがて来る「その時」に、今備えるために改めて防災について考え、具体的な備えが万全にできているか、もう一度確認しておく時です。今回は「在宅避難と備え」についてお伝えします。私たちはまわりで起こる災害事例を教訓に「明日は我が身」と常に危機感をもって防災・減災に向けて各自でまた地域で真剣に取り組もうではありませんか。



「在宅避難」

災害発生後も避難所に避難せず、自宅生活を続けることを「在宅避難」と言います。

避難所では環境の変化などによって体調を崩す人もいます。食料や水などの必要なものを、日頃から備え、可能な限り在宅避難できる準備を整えておくことが大切です。

自然災害被害者に聞いた、

防災についてのアンケート

災害時に必要な備えについて、発生後の3日間で「あつて良かったもの」「無くて困ったもの」、災害を経験し「これは絶対用意すべきと感じたもの」

- 1位 モバイルバッテリー
- 2位 水
- 3位 電池
- 4位 ランタン
- 5位 保存食
- 6位 ウエットティッシュ
- 7位 トイレットペーパー
- 8位 液体歯磨き
- 9位 懐中電灯
- 10位 無水シャンプー

